

国家公務員採用試験一般職（大卒程度）受験予定者の皆様へ

近畿中国森林管理局

で働いてみませんか！

先輩職員からのメッセージ

O さん(令和3年採用 一般職(大卒程度)行政)



【現在取り組んでいる仕事】

森林管理署の治山グループの係員として、治山工事に関する文書作成や監督補助として工事現場確認などの業務に携わっています。また、災害発生時には被害状況の調査を行うなど現場で汗をかく機会が多くあります。現場では工事業者や関係省庁の外部機関の方と意見交換する機会があり、新鮮でとても勉強になります。

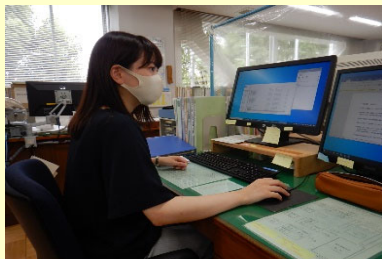
【職場の雰囲気】

分からないことや困ったことがあれば相談しやすい雰囲気だと思います。私は異業種から転職してきており、林業のことは一切分からない状態で入庁しました。それでも私は周囲の上司や先輩方に支えられているおかげで、日々奮闘しながら仕事に取り組んでいます。

【林野庁の魅力】

担当業務の枠を超えて様々な業務に携わることができる場所です。私は治山グループに所属していますが、他のグループの手伝いとして計測業務や収穫調査のために現場に出ることがあります。このように一つに限らず様々な分野の仕事に携われるところが林野庁の魅力だと思います。

T さん(令和3年採用 一般職(大卒程度)行政)



【現在取り組んでいる仕事】

私は新規採用として森林管理局に配属となり、主に企画業務を担当しています。業務の内容は、課内の予算の管理や、庶務業務、複数の係にまたがる仕事のとりまとめなど、幅広い業務を行っており、とても勉強になります。

また、現地調査に同行させてもらったり、勉強会やイベントに参加したりするなど、実際に現場に行くことも多くあります。普段の業務以外にも様々な経験ができ、とても充実しています。

【職場の雰囲気】

とても話しやすい雰囲気です、何か分からないことがあっても、丁寧に教えていただいています。初めてのことばかりで戸惑うこともありますが、周りの方々に優しくサポートしていただき、のびのびと仕事に取り組むことができます。

【林野庁の魅力】

現場に出る機会があるところが魅力だと思います。自然の中を歩くことで、仕事の中でも気分転換になります。また、地図で見えたところを実際に歩いたり、図鑑に載っていた植物を近くで観察したりすることができるので、たくさんの発見があり、面白いです。

M さん(平成31年採用 一般職(大卒程度)行政)



【現在取り組んでいる仕事】

森林管理署の業務グループで森林経営と資源活用を担当しています。森林経営では国有林と民地の境界を管理する仕事をしており、資源活用では立木の調査、森林の整備、立木や丸太等の販売を行う仕事をしています。どちらの仕事も書類や地図、データだけではわからないことが多々あるため、実際に山へ現地確認に行くことも多いです。山での業務は体力を使い大変なときもありますが、自分たちの行っている仕事は、将来にわたって残せるやりがいのある仕事です。



【職場の雰囲気】

優しい方々が多く、業務についてもしっかり教えていただける雰囲気の職場です。また、仕事だけでなくプライベートも大切にできる環境で働きやすい職場です。

【林野庁の魅力】

試験区分を問わず幅広く、様々な仕事に携われるところだと思います。木を植え、育て、伐って、活用する林業に携わることもあれば、災害から人々の生活を守る治山事業、貴重な森林生態系の保護等に携わることもあり、多様な経験ができます。

よくある質問にお答えします

Q1) 試験区分によって担当業務が限定されますか。

A) 試験区分により担当業務が限定されることはありません。林学、行政の区別なく、局又は署等で仕事をしてもらっています。

Q2) 採用時の配属先はどう決定されるのですか。

A) 採用時の配属先は、行政区分の方は試験地域内、その他の試験区分の方は、面接カードに記載された希望を参考にしながら配属先を決定します。

Q3) 採用後は、全国異動となるのですか。

A) 人事異動については、基本的に全国異動となりますが、配属先は、本人の希望や適性を見ながら決定しています。

Q4) 林学の知識がありませんが業務に支障はないですか。

A) 林野庁には充実した研修のシステムがあり、必要な知識を習得しながら業務を行っているので、心配はありません。また、実際に林学の知識が無い方もたくさん採用しており、皆さん活躍しています。

Q5) 体力に自信が無いのですが業務に問題はありますか。

A) 森林のパトロールや収穫調査、境界の見回りなどの業務を行っていただくこととなりますので、普通の山を歩く体力は必要です。なお、山を歩く体力は、ある程度慣れればついてきますので心配ありません。

Q6) 林野庁には女性職員はどのくらいいますか。

A) 全職員の割合でいうと1割くらいですが、最近の採用状況は、女性職員が3割くらいと増えています。今後、男性職員が多い高齢層が退職するため、大幅に増加する見込みです。

Q7) 林野庁の仕事と環境省の仕事はどのように異なるのですか。

A) 林野庁は、国土の面積の2割を占める広大な国有林の管理・経営の仕事を主に行っています。山(国有林)に木を植え、育てて、伐採し、木材を販売する林業の仕事に従事できる一方、貴重な森林生態系や生物群集からなる国有林を保護し、モニタリングする仕事や、民家や施設を土砂崩れから守る治山事業など森林に関する様々な仕事を現場で自らの手で実現できます。また、民有林の整備、木材の有効利用等の国有林以外の森林・林業に関する幅広い行政に従事することができます。一方、環境省のうち、特にレンジャーの仕事は、国立公園の管理、野生生物の保護などが中心であり、森林のみを対象としておらず、林業・木材産業などの産業政策とは目的を異にしています。

【お問い合わせ先】

近畿中国森林管理局 総務課
TEL: 06-6881-3421